

ほなゐ歴史通信

第111号

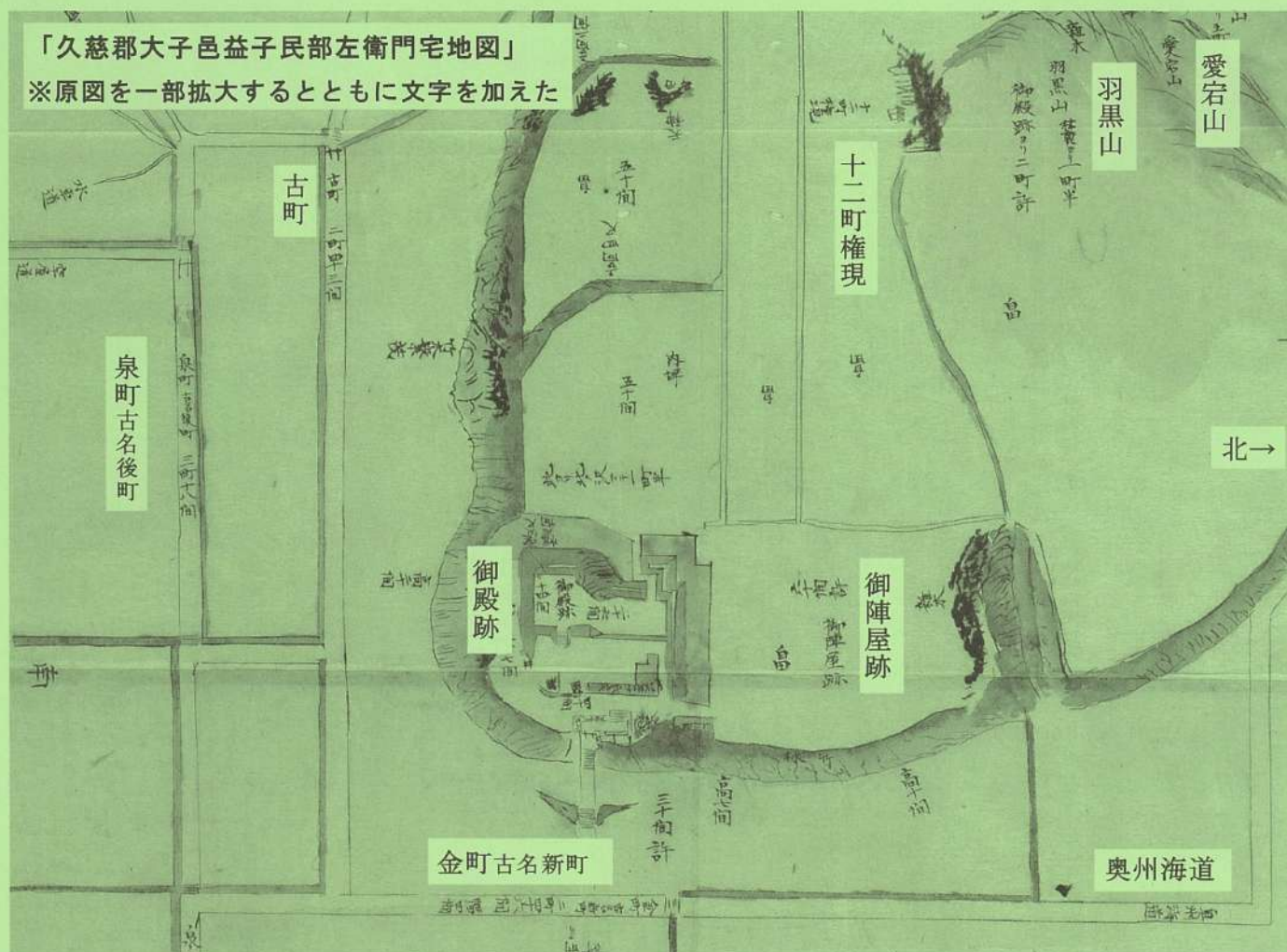
2024(令和6).6.1

新発見！ 太子村を描いた新たな絵図

昨年、東京大学史料編纂所にて史料調査を行った折、太子村の中心部を描いた絵図を新たに確認しました。「久慈郡太子邑益子民部左衛門宅地図」(東京大学史料編纂所蔵、内務省引継地図―内務省引継地図―〇二〇二―〇四)と称されるものです。これは、常陸国の十五の古城の絵図を明治時代頃に集めた「常陸十五城図」の一つで、現だいご小学校付近に位置した城跡を描いたものです。

大字太子の「後山」には、戦国時代、太子村の土豪であった益子氏の居館が置かれていたと伝わります。江戸時代に入り、居館自体はその機能を失い、幕末期にはその跡地に太子郷校(文武館)が設けられるなど、土地利用が続けられた結果、現在、居館跡には明瞭な遺構が残っていません。しかし、本図の発見により、往時は、居館が置かれた場(御殿跡)を囲むように土塁が築かれ、さらにその北側にも土塁があったことがうかがえます。

また、本図には、大字太子の各町の古名が記されていることも注目されます。泉町は「後町」、本町は「古町」、金町は「新町」と呼ばれていたことがわかります。これをヒントにすると、太子の町場は、本町(古い町)が町として開かれた後、泉町(古町を通る道の後ろ側に広がった町)、金町(新しい町)へと拡大したことが想定されます。今後の調査の進展が楽しみな絵図です。(藤井達也)



編集
集人

発行

発行日

大子町歴史資料調査研究会

齋藤 典生（大子町歴史資料調査研究員）

藤井 達也（大子町歴史資料調査研究員）

大金 祐介（大子町歴史資料調査研究員）

神長 敏（大子町教育委員会事務局）

大金 真理子（大子町教育委員会事務局）

大子町教育委員会

久慈郡大子町大字池田二六六九番地

☎ 0295（72）1148

二〇二四年（令和六）六月一日